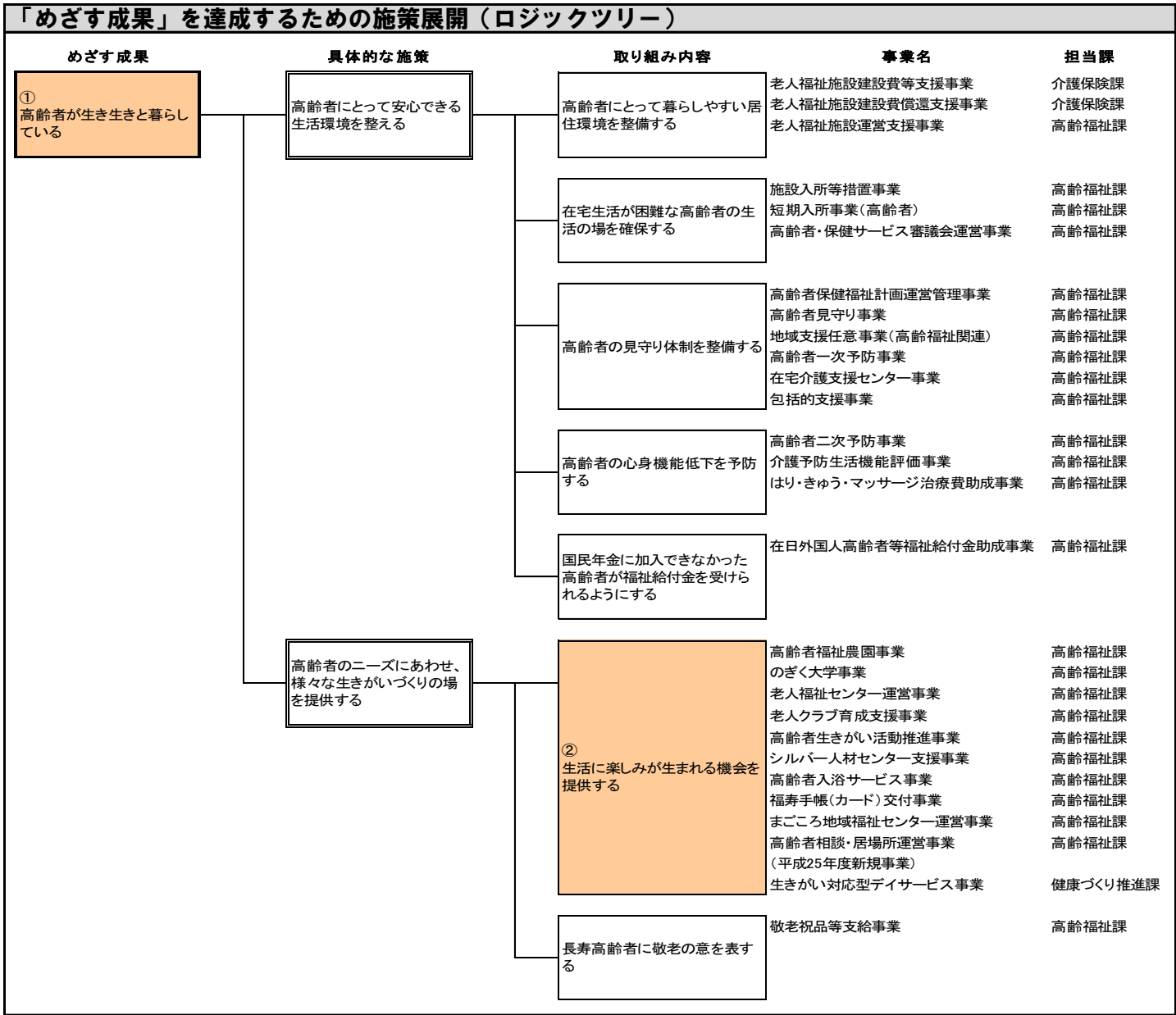


平成25年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
1－3－3 高齢者が生き生きと暮らしている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち
	個別目標	支えあいによる地域福祉を推進する
	めざす成果	高齢者が生き生きと暮らしている 高齢者が暮らしやすい生活環境の中で、生きがいをもって生活しています。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②	
高齢者は地域で生き生きと活動していると思う市民の割合		シルバー人材センターの会員数	
計画策定時 現状値	47.6%	計画策定時 現状値	688人
実績値 (H24)		実績値 (H24)	894人
中間目標値 (H23)	50.0%	中間目標値 (H23)	1,200人
目標値 (H25)	52.0%	目標値 (H25)	1,300人

所 管 部		健康福祉部	
平成24年度までの 取り組み内容	【高齢者にとって安心できる生活環境を整える】 ・第5期介護保険事業計画に基づく小規模多機能型居宅介護事業所併設グループホームの開設準備補助対象事業者に対し、開所に向けた支援を行いました。 ・地域の高齢者総合相談窓口をはじめ、介護予防や高齢者虐待対応など権利擁護の拠点として、市内7ヵ所に地域包括支援センターを設置しています。 ・緊急通報システムの対象疾病や対象要件を拡充するとともに、新たに市内民間事業者6社と高齢者の見守り協定の締結や配食サービスによる在宅高齢者への見守り支援、民生委員児童委員による在宅高齢者声かけ訪問調査により、高齢者見守り体制の整備を図りました。 【高齢者のニーズにあわせ、様々な生きがいづくりの場を提供する】 ・高齢者の身近な憩いの場として老人福祉センターを運営するほか、教養や趣味、仲間づくりの場としてのぎく大学を開催し、14講座（前年度12講座）を実施するとともに、発表の場を設け、広く市民に活動を周知しました。また、シルバー人材センターの活動支援を通して、高齢者の働くことによる社会参加やいきがい作りの場を提供しました。平成24年度における同センターの会員登録者数は、894人（前年度896人）となっています。		
	・在宅生活が困難になった要介護者の生活の場として、引き続き介護保険施設の整備を行います。また、介護が必要になっても、住み慣れた地域での在宅生活を支援する地域密着型サービスの充実を図ります。 ・独居高齢者や高齢者世帯の方が安心して、健やかな生活を送ることができるよう、配食サービスや緊急通報システムの実施、民間事業者との見守り協定の締結等、複数の施策を実施し、見守り体制の強化を図るとともに、緊急時には、声かけ訪問調査の結果を踏まえ、様々な機関、組織、民生委員児童委員等と連携し、迅速に対応します。 ・高齢者が自宅に閉じこもることなく、気軽に外出し、社会性を育む機会を広く提供できるよう事業の在り方について継続して検討していきます。		
構成事業に対する考え方 （事業の量及び実施手法）			
今後の展開方針			
注） 例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。			
新規事業の立案	・高齢者が気軽に集い、相談できる居場所を設置します。 ・シルバー人材センターの事務所等に移転します。	（該当する事務事業） 高齢者相談所・居場所運営事業 (仮)シルバー人材センター移転事業	
既存事業の拡充	・緊急通報システムの対象要件の拡大を検討します。 ・高齢者専用バス運行事業の代替策を実施します。 ・北部エリアに包括を2ヶ所増設し、包括的支援事業を充実します。 ・介護施設における慈善活動にポイントを付与し、介護予防を推進します。	（該当する事務事業） 高齢者見守り事業 高齢者生きがい活動推進事業 包括的支援事業 高齢者一次予防事業	
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）	
事業の効率化		（該当する事務事業）	
その他見直し	・第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成27年度～平成29年度）の策定に向けて、実態調査を行います。	（該当する事務事業） 老人福祉施設建設費等支援事業	